

2024年8月29日

各位

会社名 株式会社オーネックス
代表者名 代表取締役社長 鶴田 猛士
(コード番号 5987)
問合せ先 常務取締役管理本部長 田島 圭子
(TEL.046-285-3664)

取締役会の実効性評価のためのアンケート結果に関するお知らせ

当社は、下記のとおり取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施し、2024年8月29日の取締役会において結果を報告しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1 実施概要

(1) 対象者

取締役及び監査役の全員

(社内取締役4名、社外取締役2名、社内監査役1名、社外監査役2名)

(2) 実施：2024年7月

(3) 実施要領

ア 無記名アンケートと今後の課題

イ アンケート項目の概要

- ① 取締役会開催頻度・審議時間
- ② 取締役会の議題・議案の提示
- ③ 取締役の業績評価・報酬
- ④ 社内外取締役会の構成
- ⑤ IR・ROEについて
- ⑥ 今後の課題

(4) 対象コーポレート・ガバナンス・コード：補充原則4-11③

『取締役会は、毎年各取締役の自己評価なども参考にしつつ取締役会全体の実効性について分析・評価を行い、その結果の概要を開示すべきである。』

2 評価結果の概要等

(1) 全般

当社の取締役会の実効性につきましては、おおむね確保されていると判断しました。今回で3回目となる実効性評価のアンケート調査により、改善策等がより明らかになり、実効性の向上につながっていくものと判断しております。

(2) 細部

① 取締役会開催頻度・審議時間

- ・現状の回数で十分に審議できており、時間についても議論に必要な時間が十分確保されているとの評価を得ました。

② 取締役会の議題・議案の提示

- ・議題・議案ともに事前に提示されているとの評価を得ました。ただし、提示にあたっては2日前までに提示すべきとの回答が半数以上でした。

③ 取締役の業績評価・報酬

- ・業績評価について、現状で問題はないとの評価を得ました。ただし、評価は必要と考えるが当社の体格に合った方法を検討すべきとの所見がありました。
- ・報酬について、現状で問題ないとの評価を得ました。ただし、業績連動報酬を導入すべきとの所見が少数ありました。

④ 社内外取締役会の構成

- ・会社の規模、業務に適しており、現状弊害はないとの評価を得ました。

⑤ IR・ROEについて

- ・IRについて、現状でよいとの評価を得ました。ただし、ホームページへの開示等による充実が必要との所見がありました。
- ・ROEについては、5%を目標値にすべきとの評価があり、ステークホルダーへ利益水準を明確に示すべきとの所見がありました。

⑥ 今後の課題

- ・取締役会の構成が高齢化しているため経営陣の若返りが必要であり、役員候補の計画が必要である。
- ・3～5年の中長期経営計画を立て、毎年ローリングプランとして見直していく。
- ・市場動向や熱処理に係る技術開発、先端技術等について、外部機関の活用等により情報を入手し研究部門を強化して今後の事業拡大・発展を期したい。

3 まとめ

当社取締役会は、今回の評価内容と各所見を踏まえまして、さらに実効性を高めてコーポレートガバナンスの強化と企業価値の向上を目指してまいります。

以上